

世耕弘成経済産業大臣、太田直樹総務大臣補佐官、熊澤春陽個人情報保護委員会委員、アンドルス・アンシプ欧州委員会副委員長、ベラ・ヨウロバー欧州委員会委員（司法・消費者・男女平等担当）による共同プレス・ステートメント

世耕弘成経済産業大臣、太田直樹総務大臣補佐官、熊澤春陽個人情報保護委員会委員、アンドルス・アンシプ欧州委員会副委員長及びベラ・ヨウロバー欧州委員会委員（司法・消費者・男女平等担当）は、データ・エコノミーに関する協力を進展させるため 2017 年 3 月 20 日にハノーバーで会合を行った。

G7 首脳と閣僚により、デジタル連結世界の実現に向けたアクションプランと基本的原則の共有が行われた、2016 年の G7 情報通信大臣会合と G7 伊勢志摩サミットにおける結果を、会合の参加者は振り返った。

議論の中で、会合の参加者は、経済成長、競争力、イノベーション、雇用創出、社会発展のためにデジタル・データが必要不可欠な資源であるということを経験した。また彼らは、個人データの保護に関するそれぞれの法制や措置について十分に考慮しつつ、情報の自由な移転を促進すること等を通じて、データ・エコノミーの発展を推進するためのより緊密かつ定期的な意見交換と相互に学ぶことを呼びかけた。

特に、データ・エコノミーに関する以下 4 つのポイントに関する協力を強化するための用意ができていた点を会合の参加者は表明した：

1. 高水準のデータ保護の推進及びデータの自由な流通の促進

会合の参加者は、基本的な権利として、また、データ・エコノミーにおける消費者の信頼の重要な要素として、個人データのハイレベルなプライバシー及びセキュリティを確保することの重要性を再確認した。

会合の参加者は、双方のプライバシー法制に係る最近の改正は、適切な保護レベルを見いだすこと等を通じて、相互の円滑なデータ移転をより促進するための新しい機会を提供するものであることを認めた。

会合の参加者は、これらの共通の目的に係る議論を推し進めることが重要であると考えている。

2. 中小・中堅企業を含む産業協力の促進

会合の参加者は、イノベーションを促進し、スタートアップを含む中小・中堅企業 (SMEs) 協力におけるシナジーを促進するための日 EU 間の産業協力を、SMEs を積極的に巻き込むことの重要性を強調した。

会合の参加者は、ビジネス間の IoT 協力の重要性を強調し、日本の IoT 推進コンソーシアムと EU の IoT イノベーション・アライアンス (AIOTI) の間の IoT 協りに係る MoU が 3 月 20 日に CeBIT の場で署名されたことを歓迎した。

3. 相互学習、優良事例共有、協力促進のための、データ・エコノミーに関する対話の強化

会合の参加者は、現代の経済におけるデータの重要性を確認し、日・EU ビジネス・ラウンドテーブル等の機会を活用し、意見交換を引き続き実施することを確約した。

会合の参加者は、例えば日 EU・ICT 政策対話、日 EU 産業政策対話、日・EU ビジネス・ラウンドテーブル等の既設の対話と並んで開催される、データ・エコノミーの側面に焦点を当てた専門家会合の開催を呼びかけた。

会合の参加者は、日本の関係省庁や政府組織の代表者が、欧州委員会の関係部局の代表者と共に、これらの専門家会合に参加するというコミットメントを確認した。

4. データ・エコノミーのインパクトを測定するツールの共同開発

会合の参加者は、経済や社会がデジタル化されることの社会的、経済的インパクトをよりよく評価するために、分析的、統計的な作業を促進することの重要性を共有した。

このため、会合の参加者は、専門家が OECD やその他の国際機関の専門家の関与と協力を得て、意見交換と共同作業を促進することを奨励した。

EU デジタル経済・社会インデックス (DESI) のようなグローバル・データ・エコノミーのためのイニシアティブを基に、国際的に比較可能な測定ツールを開発することに特別な焦点を当てるべきである。

2017 年 3 月 20 日、ハノーバーにて